

平成 28 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 ヤマト・インダストリー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 杉浦 大助  
 ( J A S D A Q ・ コード 7886 )  
 問合せ先責任者 取締役管理本部統括 茂木 久男  
 ( T E L 03-3834-3111 )

営業外費用の発生ならびに第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の第2四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じるとともに営業外費用を計上することになりましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 連結業績予想値と実績値との差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社に帰属する 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	7, 0 0 0	8 5	6 0	3 5	円 銭 3. 4 8
今回実績値 (B)	6, 6 9 1	1 5 0	6 3	1 7	1. 7 1
増減額 (B-A)	△ 3 0 9	6 5	3	△ 1 8	—
増 減 率	△ 4. 4	7 6. 5	5. 0	△ 5 1. 4	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	6, 9 1 1	6	1 1	△ 2 5	△ 2. 5 6

差異が生じた理由

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の売上高は、物流機器関連は順調に推移し予想額より増加しましたが合成樹脂関連は、円高の影響もあり、66 億 91 百万円となりました。利益面では原価低減、経費削減に取り組み、営業利益、経常利益は予想を上回りましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を下回りました。

2. 営業外費用（為替差損）の計上について

海外子会社に対する外貨の 9 月末債権（未入金等）が前期末に比べ円高になったことと、フィリピンにおいて子会社取引通貨（米ドル）のペソ高の影響により、為替差損 6 1 百万円を計上することになりました。

※ 通期業績予想につきましては前回の予想から変更はありません。変更すべき重要な事項が発生した場合は適時公表いたします。

以上